

# 三條南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club



2013. 4.15

No.2074

No.32



出席率 会員47名中36名

先々週の出席率 87.23%

先週のメークアップ 4/9 三條北RCへ  
松崎孝史君 野島廣一郎君  
4/13 地区協議会(胎内)へ  
馬場信彦君 草野恒輔君  
平松修之君 野中 悟君  
野崎正明君 谷 晴夫君  
渡邊光郎君 吉井正孝君



## 会長挨拶

三條南ロータリークラブ 会長

坂井範夫

皆さん、こんにちは。

桜が満開となりました。梅、モクレン等の花が咲き競い、やっと本当の春がやってきたようです。

昨日、「雪国魚沼ロータリークラブ創立 50 周年記念式典祝賀会」に出席してまいりました。雪国魚沼RCは、会員は 21 名ですが、大変活発に活動されており、その一つに魚沼地方に古くから盛んな『子ども歌舞伎』があり、それを全面的に応援されておられます。祝賀会でも子どもたちが紹介されましたが、今度、金沢の大会に出場し、“仮名手本忠臣蔵 七段目 祇園一力茶屋”の場を演じるとのことです。5月4日、5日に3団体が演じるそうです。

また、昨年 10 月 28 日には、50 周年記念事業として、子ども歌舞伎の公演とともに、『中村吉右衛門丈特別講演会』を開催されたとのこと、これは、松竹の社長に直談判し、実現したとのことでした。エネルギー溢れるクラブです。

また、地元の若い人のために“婚活事業”を市と一緒に取り組んでおられ、井口南魚沼市長の挨拶の中でもお礼を言われておりました。

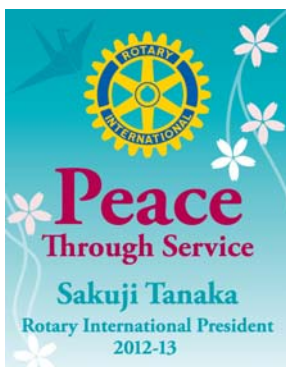
井口市長、上村湯沢町長、友好クラブの米沢おしょうしなRC会長、前橋RC会長、スポンサークラブの十日町RC会長の挨拶に続き宴会となりました。宴会は、'八海山' づくめで、生ビール、瓶ビール、日本酒三種・・・酒飲みには大変に有難いもてなしでありました。

そして、三條に戻ったのが 7 時 30 分頃。ちょうど良い時間帯ということで、さらに親睦を深めるべく 4 クラブ合同で二次会となりました。

## 四つのテスト

一言行はこれに照らしてから—

- I 真実かどうか
- II みんなに公平か
- III 好意と友情を深めるか
- IV みんなのためになるか どうか



国際ロータリー会長 田中作次 [埼玉、八潮]  
第2560地区ガバナー 鈴木重彦 [長岡]  
第4分区ガバナー補佐 杉山太三郎 [巻]  
会長 坂井範夫  
幹事 丸山征夫  
S A A 永桶俊一

事務局 〒955-8666 三條市旭町2-5-10

**三條信用金庫 本店内**

TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

URL http://www.sanjo-minami.jp



丸山征夫幹事

●鈴木ガバナー事務所より「ロータリー山の会 長岡市の最高峰 鋸山(標高 764.9m)のご案内

[日時及び場所]

① 5月25日(土)

- ・集合場所：(希望者のみ) ロータリーハウス見学(長岡市山古志) 時間：14:00 集合
- ・親睦会と宿泊地：あまやち会館(山古志種芋原たねすはら 4526)  
時間：17:00 集合 18:00 懇親会開始

② 5月26日(日)

あまやち会館 9:00 出発 ~ 花立峠 ~ 鋸山山頂 ~ 花立峠・昼食 ~ あまやち会館着 14:30 予定

[参加費]

10,000 円(宿泊、親睦会、26 日朝食、お弁当) ※ 親睦会のみ 5,000 円 山歩きのみ 無料  
[保険料] 1,000 円

●見附ロータリークラブより「創立 30 周年記念式典」のご案内

日 時 6月8日(土) 11:00~14:30

場 所 ホテルつるや

記念講演 「日本」 長岡市国際交流センター長 羽賀友信様

# ニコニコボックス

NIKO-NIKO BOX

~ 10月1日 12,000円  
今年度累計 268,000円~

- |   |   |
|---|---|
| <p><b>坂井君</b> 桜が満開です。けれども、散る時を思うと寂しいです。</p> <p><b>丸山(征)君</b> 雪国魚沼RC50周年記念パーティに参加、ついでに久し振りに雲洞庵を見学して来ました。</p> <p><b>草野君</b> 土曜日に中条で「地区協議会」があり、8名で出席してきました。参加の皆様、大変お疲れさまでした。</p> <p><b>野中君</b> 4/13(土)は、まだまだ雪が多く残る胎内へ地区協議会に参加してきました。</p> | <p><b>坪井君</b> 漸く、桜が満開となりました。</p> <p><b>田代君</b> 大阪のホテルで地震に遭いました。新大阪始発の「のぞみ」に5分遅れくらいのダイヤで乗車できました。</p> <p><b>安達君</b> 都合で早退させていただきます。申し訳ありません。</p> <p><b>佐藤(秀)君、滝口君、田中君、銅冶君、野水君、渡邊(久)君</b> BOXに協力いたします。</p> <p><b>齋藤君</b> BOXにご協力ありがとうございました。</p> |
|---|---|

## Club Forum 地区協議会報告



クラブフォーラム

開催日：4月13日(土) 会場：ロイヤル胎内パークホテル・アウレッツ館

### 草野恒輔 会長エレクト

山崎年度の地区協議会が4月13日胎内市で開催され、馬場信彦 2560 地区運営アドバイザーをはじめ、8名で出席しました。

ロンド、バートンR1 会長エレクトのテーマが、「Engage Rotary Change Lives」となり、「ロータリーを实践し、みんなに豊かな人生を」と訳されました。

そして4項目の心得を上げています。

1. 「ロータリーの中核的価値観は、奉仕、親睦、高潔性、リーダーシップであり、我々はこの価値観に従って生き、地域社会へこれらの価値観を広げようと努力している」
2. 「ロータリーの奉仕は、努力するほどに多くのものを得ることができる」「また、ロータリーを真に実践し、価値観を日々生かす決意と努力で、素晴らしい結果を得ることができる」
3. 「ロータリー財団は新たな時代の幕開けであり、今が興奮に満ちた時である」



4. 「入会した新会員がロータリーに積極的に参加し、ロータリーへの意欲を高め、ロータリーの奉仕のパワーで人々の人生を豊かに出来るようになって、育成が終了する」

これを受けて山崎ガバナーエレクトは、

『2560 地区の古き良き伝統を守り、変えるべきは変えていく』とし、活動規範を『地区研修の強化』・『地域協同ネットワークセンターの充実化』としました。そして、スローガンは『進めよう！職業奉仕の洗練化を！』と『備えよう！大震災の心構えを！』としました。

また、この3年間、ガバナー協議会は十分な検討を行い、「ロータリーの綱領」を「ロータリーの目的」と変え、現代的な表現にしました。当クラブも7月より、ロータリーの目的を使う予定です。

基調講演は、「ロータリーの魅力の再発見と、クラブの活性化」と題し、廣畑富雄九州大学名誉教授の格調高いお話がありました。どんどん引き込まれていく内容で感激致しました。

最後に石本前ガバナーよりお話があり、各クラブは定款・細則の変更をしっかりとやるようにとお達しがありました。また、県単位で見ると人口減少率と会員減少率は相関関係にあるとの知見を出されました。

## 谷 晴夫 次年度社会奉仕委員長



第2セッションに参加させていただきました。

第2セッションは「クラブ奉仕・広報委員会」「職業奉仕委員会」「社会奉仕委員会」「国際奉仕委員会」の4人の大委員長とアドバイザー、サブアドバイザーの2名の計6名の役員が臨席して行われましたが、議事の途中からセッションのあるべき姿に対する意見が続出し、最後までまとまりがつかないセッションとなりましたことを報告します。

協議会のセッションの目的は、各委員会の大委員長から次年度の方向性を話していただき、その事の質疑応答から各委員会の活動内容を深めていくものと思っておりましたが、冒頭、司会者から各役員の紹介があっただけで、アドバイザーが25ページにもなる資料を元にして、各委員会の責務、理念等の説明を始めました。

開始から40分資料の4分の1にもならないところで、参加者から異議申し立てがありました。

「貴重な時間、4人の大委員長に何も話をさせない進行で、アドバイザーが研修的に参加者に一方的に説明し終わるのが、この協議会のセッションの目的なのか」をアドバイザーに確認しました。アドバイザーは「山崎ガバナーエレクトから1時間30分、ロータリーのそもそも論を参加者に教えて欲しい旨の話があったから行っている」との回答から、参加者から諸意見が続出し、かつ、ホストクラブの司会が機能していないことも加え、一時は収集のつかない状態となりました。最終的には、大委員長からの活動の話をいただくことでその場はおさまりましたが、ポタンの掛け違いから始まったために、大委員長の活動内容自体もちぐはぐとなり、会議自体方向性を失ったセッションとなりました。

参加者から「プログラムありきの内容で中身がない、もっと打ち合わせを行った上で会議を開催して欲しい」との意見がありましたが、その事を受ける自体の組織がどこになるのかはなはだ疑問に残ったところです。

## 野中 悟 次年度新世代奉仕委員長（代理）



私は次年度クラブ会報委員長を務めさせていただきますが、今回は、馬場眞樹新世代奉仕委員長の代理として、第3セッション「新世代奉仕委員会部門」に出席してまいりました。新世代奉仕は、

1. インターアクト委員会（15～18歳）
2. ローターアクト委員会（18～30歳）
3. ライラ委員会（15～30歳）

以上の3委員会構成され、各委員長の活動方針が発表されました。

また、アドバイザーである馬場信彦パストガバナーより新世代奉仕の考え方や思いが述べられ、まとめますと

どのクラブにおいても、必ず「会員の増強」は大きな課題として挙がっている。目先の一人二人の増強もちろん大切であるが、10年、20年先を考えて新世代奉仕委員会をみていきましょう。とのアドバイスでした。

## 参考資料

新世代奉仕は、ロータリーで最も新しい奉仕部門です。長期的な影響を生み、今の人々だけでなく、後世のために何かを残そうというロータリアンの思いが、新世代奉仕に反映されています。

新世代奉仕は、青少年とその家族、そして未来の世代のための、すべての奉仕を含んでいます。識字率向上、職業訓練、母親のための保健プログラム、子どもたちの栄養強化といった活動から、ローターアクト、インターアクト、ロー

ター青少年交換などのプログラムにいたるまで、ロータリーでは、若者たちがベストの状態での人生の第一歩を踏み出せるよう、支援しています。

新世代奉仕は、ロータリーにおいて極めて重要な部分です。未来の世代がロータリーを頼りにしているように、ロータリーも彼らに頼っています。ロータリーは発展し続け、新しいロータリアンを生み出していく必要があります。将来、ロータリーの活動を継承していくのは、ほかでもなく、次世代のロータリアンです。私たちは、熱意や知識や経験を若い世代に引き継ぎますが、同時に、彼らから多くを学ぶことができます。

ロータリーが大切に、必要としていることの多くは、情熱とか、積極性など、若さを連想させる要素です。若者は、恐れ知らずです。できない言い訳を探す代わりに、やり遂げる方法を見つけようとしています。

ロータリーでは目標を高く掲げていますので、このような姿勢に共感できる方も多いはず。例えば、私たちが掲げた目標は、数人の子どものポリオの予防接種をすることではなく、ポリオを世界から撲滅することでした。目標を高く掲げてはじめて、一生懸命にがんばり、限界を押し広げようという意欲が沸くものです。

若者たちが持つもう一つの特徴は、柔軟性です。ロータリーが発展するには、変化する世界とともに、私たちも変化する柔軟性を備えなければなりません。新しいアイデアや考え方に心を開くことも必要です。新会員には、「ロータリーになぜ入会したか」、「ロータリーで何がしたいか」といった質問を聞いてみるとよいでしょう。また、すべての会員に対して、「どうしたらもっと良くなれるか」と聞いてみてください。

2012～13年度 RI会長 田中作次

## 渡邊光郎 次年度青少年交換委員長



当日は開会宣言に始まり、基調講演では廣畑パストガバナーの「ロータリーの魅力の再発見と、クラブの活性化」についてわかりやすくロータリーの考え方について解説がありました。

分科会では第4セッションで青少年交換委員会に参加しました。

委員会では横山副委員長の司会で当日次第の説明に始まり、倉茂委員長による青少年交換委員会の活動方針と概要について説明がありました。

○ 活動方針では交換学生の募集について（各々要項は別紙）

- ・2013年度の夏期交換学生は4月30日まで募集して、まだ1名の余裕があるとのこと。
- ・2014～15年度一年交換学生は2名決定しています、申し込みは10月末日必着で受付中ですので応募して欲しいと言っていました

○ 青少年交換委員会の概要と理念の説明がありました、特に倉茂委員長からは理念について詳しく説明して頂きました。

\* 青少年交換の目的は留学のみが目的として考えられがちですが、本当に重要なのは留学後です、学生がその経験をどう活かすかです。交換留学修了者（青少年交換学友）はその後も ROTEX〔ローテックス〕としてロータリー活動に参加します。彼らはロータリーのみならず日本にとって大変貴重な人材ですと言っていました。

\* そして倉茂委員長は ROTEX の思いについて、青少年交換学友（ROTEX）の彼らと付き合うことで感じることは、多くの ROTEX が留学を通して、様々な人のお世話になり、成長させてもらったと感じていることです、そしてそのことに大きな感謝の気持ちを持っているということです。彼らは留学の経験を活かして誰かの為に何かをしたい、誰かに喜んでもらいたいという気持ちを人一倍強く持っていると感じています。この気持ちをいかに社会貢献に繋げていくかが非常に大切であると説明がありました。

そして山崎年度では ROTEX（ローテックス）活動の支援と普及を委員会の基本柱の一つに加えて活動していきます。だからこの ROTEX の言葉を忘れないでくださいと言って委員会を終了いたしました。

委員会に参加して更にロータリーの奥の深さと難しさを知り、もっと知らなくてはと思い解散後、廣畑パストガバナーの「ロータリーの心の原点」の本を買ってきましたがまだ読んでいないので今日は間に合いませんでした、早く読んで少しでも理解したいと思います。

## 吉井正孝 次年度米山記念奨学委員長

第5セッション 米山記念奨学委員会 報告

〈米山事業の現況〉

・ 不況下で会員数の減少や新しいクラブの設立が難しい現状を踏まえて、以前に比べ、米山事業も厳しい状況にある。具体的には、これまで年間800人の留学生を迎えていたが、今年からは700人。それでもロータリーの



「米山奨学制度」は、日本最大の留学生受け入れ窓口となっている。

・ 当、2560 地区で受け入れる留学生も、財政難から約 10 年前の 26 名が、山崎年度は 21 名に減少。

・ この様な現状ながら、わが 2560 地区の寄付金納入実績（個人平均寄付額）は、全国 11 位の 13,692 円。

この数字は、全国平均の 12,494 円を大きく上回る。なかでも第 4 分区 三条南 RC は、全 11 クラブ中、堂々の 2 位。

《留学生にも変化が》

「米山」に応募してくる留学生の出身国にも、近年大きな変化が表われている。

ここ 2560 地区の 13 年度の奨学生は、前年度継続の学生を含め合計 21 名。

内：男性 9 名・女性 12 名。出身国別では、中国 8 名、ベトナム 6 名、韓国 2 名、

モンゴル 2 名。他、台湾・ミャンマー・マレーシア各 1 名となっている。

出身国別に 2008 年頃と比較してみると、イタリア、スペイン、リトアニア、アルバニア、アメリカ合衆国、アフリカのコート・ジボワール、アジアでもネパール、ラオス、カンボジア、バングラデシュ、タイと、今年のみ国々に加え、以前はもっと地域分散が見られたものの、現状はアジア一色……。それも、ここでも中国の「台頭」が目立つ。

《米山奨学委員会からのお願い》

- ・ これまで、約半世紀にわたって続けられてきた「米山奨学会」の活動を支援・発展させるためにも、全国のロータリアン、そして 2560 地区各クラブ会員の絶大なご協力を賜りたい。同時に 13 年度は、2560 地区の米山目標額を、おひとり 18,000 円としたい。
- ・ またその一助として、公益財団法人としての「米山記念奨学会」への税制上の優遇措置等についての PR 活動も進めていきたい。

## ROTARY NEWS



国際ロータリー・ニュース : 2013 年 4 月 23 日

### 3年に1度の規定審議会がシカゴで開催

4月21～26日、ロータリーの532地区から代表議員がシカゴに集まり、規定審議会を行っています。3年に1度開かれる審議会では、ロータリーの組織規定（国際ロータリー定款と細則、標準ロータリー・クラブ定款）に変更を加える、クラブや地区などが提出した立法案を審議します。今回の審議会の立法案は174件に上ります。



#### 歴史とともに変化

79年の歴史をもつ規定審議会、当初は立法案審査を助ける諮問会合として国際大会中に行われていました。最初の会合は1934年、不況、平和への脅威、高い失業率で世界が揺れ動いている中での開催となりました。1954年までには審議制度も確立し、制定案と決議案を検討するために2年に1度行われるように変更されました。

1970年国際大会では、審議会を諮問的立場にある会合としてではなく、組織規定の改定案件を審議するロータリーの公式立法機関とすることが決まり、4年後には、国際大会に合わせて3年に1度開催することが決定されました。そして1977年、規定審議会は国際大会から独立した会合となりました。

審議会におけるテクノロジーの利用も、時代とともに進化してきました。1970年からは、ヘッドホンを通じて通訳を聞けるようになり、今日、出席者は2言語間の通訳だけでなく、3言語のリレー同時通訳を聞けるようにもなりました。また、2001年には電子投票システムが導入されました。

#### 時代のニーズに応えるために

これまでに実にさまざまな案件が審議されてきました。もちろん、意見の衝突が起こることもあります。しかし、規定審議会には一つの真実があります。急速に変化を遂げる世界において、ロータリーも時代のニーズに応え進

化する必要があり、それを可能にするのが規定審議会であるということです。ロータリーに大きな変化をもたらした審議会決定には、次のようなものがあります。

- 1980年、ポリオから子どもを守る予防接種活動の実施が決定されました。その前年には、フィリピンの600万人の子どもにポリオ予防接種を行うための資金を提供する、最初の「保健、飢餓追放および人間性尊重(3-H)補助金」を理事会が採択しました。この活動は1985年、ポリオ・プラス・プログラムに発展し、翌年1986年の審議会では、世界中の子どもに予防接種を行ってポリオを撲滅するロータリーの誓いが採択されました。今日でも、ロータリーはポリオ撲滅を最優先項目として掲げています。
- 1989年、世界中のクラブで女性の入会を認めることが票決され、世界各地のクラブの長年の願いが実現しました。
- 1950年、ロータリーの「超我の奉仕」と「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」の標語が採択されました。
- 2001年の審議会は、1,000件を超える案件が提出され、600以上の立法案が審議された歴史的な会合となりました。

## Birthday 5月のお祝い



誕生日



◆ 会員誕生	3日 野崎正明君 6日 野島廣一郎君	4日 佐藤嘉男君
◆ 夫人誕生	5日 永桶京子(俊一)さん 9日 安達範子(裕)さん	7日 高橋由里(祐介)さん 10日 船久保佳子(孝志)さん
◆ 結婚記念	2日 船久保孝志君・佳子さん 7日 荻澤喜一郎君・トシさん 18日 谷 晴夫君・ひさ子さん	2日 熊倉高志君・豊子さん 13日 坂井範夫君・洋子さん 23日 草野恒輔君・恭子さん

\* おめでとうございます \*

次週例会 5月13日 「歴代会長卓話」 吉井 正孝 第41代会長  
次々週例会 5月20日 「卓話」 赤塚 寧 会員



### 表紙について

あの日の一枚…「創立30周年前夜祭」  
1年交換学生 ヤン晶子(ビッキー)さんの琴の演奏  
土田 薫先生とともに  
1998年5月25日 於:燕三条ワシントンホテル

三條南ロータリークラブ週報  
2013. 4.15  
No.2074 No.32